

第4回学園運営協議会

(令和8年1月29日)

報告 ～かとう学園自己評価の結果 説明～ (意見) 【かとう学園自己評価の結果 説明】

児童・生徒

○【自立】の項目について

・資料を用いた発表はできているが十分とは言えず、発表の機会を意図的に増やすことが重要である。

○【協働】の項目について

・学校は楽しいと感じており、安心して前向きに登校している。

・自分の良さを認める意識や話し合い活動には課題が残る。

○【貢献】の項目について

・地域と連携した話し合いや体験活動には一定の効果があったが、さらなる充実が課題。

山根教頭

【質疑・応答】

教職員で「小小及び小中が合同で行う行事や活動は、児童生徒や教職員にとって価値や効果が高い」の項目について、クリーンアップ作戦や遠足ができなかったのに評価が変わっていないのはなぜか。



石井さん

小中は生徒会と6年生のかとうドリーム学習も行った。新入生説明会では、6年生対象の授業見学を実施した。



古沢校長

今年はクリーンアップ作戦が中止になったが、実施されていれば中学生が小学生の憧れの存在になれていたと思う。R6年度のクリーンアップ作戦は、新年度が始まって一月半だったが、中学生に憧れをもっていた。



安部さん

各学年で「ここまでできてほしい」という具体的な達成目標(到達ライン)を明確にすることが必要である。児童生徒が具体的なイメージをもてるような目標設定と日常の指導が重要である。学年内の変化だけでなく、経年変化や定点観測(昨年度との比較)を行う必要がある。



長澤先生